

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成 2 年退官 1958 年防衛大学卒

石老山ー奇岩群を巡る山ー

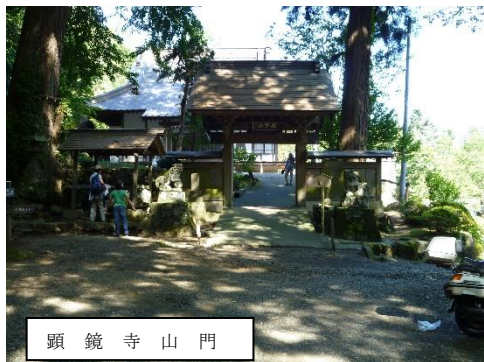
関口集落から見上げる石老山



10月、体育の日の休日、相模湖南岸の山・石老山(694m)に登った。古刹・顕鏡寺とそれを取り巻く奇岩群で、その名を知られた山である。

JR相模湖駅からのバスで9時40分、石老山登山口到着。バスは、一つ手前のバス停・プレジャーフォレストキャンプ場で下りる家族連れ客で満員。風もなく最高の体育の日日和である。

9時45分登山口出発、舗装道路をポツラポツラ歩く。関口集落を抜け、相模湖病院とかいう青い建物の脇から山道に入る。薄暗い杉林の中の苔むした道は、最初から深山幽谷の趣きである。登るにつれて、標札の付いた岩が目立つようになる。滝不動、屏風岩、仁王岩、駒立岩、文殊岩などなど。



顕鏡寺山門

山門から一段登ったところには、道志法師が住まいしたとかの岩窟もある。更に奥ノ院にかけての登路は、雷電岩、試し岩、擁護岩、八方岩など、奇岩のオンパレード。

奥ノ院を過ぎた頃から木立は明るい雑木林に変わり、傾斜もいくらか緩み、気持ちのいいハイキング道となる。途中、融合平見晴台とかいう休憩点を経て、11時に

は主稜線に顔を出し、後はなだらかな尾根道の登り下りが続く。

11時半石老山頂着。ベンチや野外卓があり、大勢の人が賑やかに弁当を拡げている。人混みに嫌気し長居は無用と、早々に山頂を発って先を急いだ。

東西に長い山頂の西端から標高差150m近くを下降し、その後も小登降を何回か繰り返す。

12時10分、小さな石祠のある大明神山に出た。



石老山山頂

更に我慢して先に5分程進むと、立派なコンクリート造りの大明神展望台があり、ここでゆっくり足を投げ出して、眺望を楽しみながら、昼食休憩にした。

ここの眺望は素晴らしい。眼下に相模湖が青々と広がり、その背後に景信・陣馬・連行・生藤の連山が美しく並び立って見えた。



大明神展望台からの相模湖景信山

13時13分13時15分13時45分

13時15分バス道路に出て、一番近いバス停のプレジャーフォレストまで痛い足を引きずって歩いた。バス停到着14時。朝同様、30人近い家族連れ客が、並んでバスを待っていた。